



東証プライム  
証券コード：9628

# 燦ホールディングス株式会社

## 2026年8月期 第3四半期 決算補足資料

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる  
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

2026年2月13日

# 目次

---

1.	2026年8月期（中間期）決算概要 .....	P.03
2.	公益社グループの業績概況 .....	P.10
3.	葬仙・タリイ・きずなホールディングス、各グループの業績概況 ...	P.13
4.	2026年8月期（2025年度）業績予想 .....	P.17
5.	株主還元方針 .....	P.19

2026年8月期

**1. 第3四半期（中間期）決算概要**

---

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる  
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

# 2026年8月期 第3四半期（中間期） 業績ハイライト

## 1 営業収益は、前期同期比 40.1%の増収

- ・ (株)きずなホールディングス連結子会社化の通期寄与により増収。  
一方で既存セグメントは死亡者数減少の影響を受け、前期同期並み。

## 2 営業費用は、前期同期比 41.6%の増加

- ・ のれん償却額や、新規会館出店に伴う地代家賃等の増加、将来の事業成長に備えた人員採用に係る採用費・人件費等の増加

## 3 2026年2月1日に、こころネット(株)を株式交換により連結子会社化

- ・ みなし取得日は、2026年3月31日

# 2026年8月期 第3四半期 業績概要（連結）

	2025年3月期 3 Q累計	2026年8月期 3 Q累計	前期比		業績予想（17か月決算）	
			増減額	増減率	2026年8月期	進捗率
（単位：百万円）						
営業収益	20,769	27,801	7,031	33.9%	59,300	46.9%
営業費用	16,069	22,756	6,687	41.6%	45,320	50.2%
一般管理費	2,216	2,605	389	17.6%	7,510	34.7%
営業利益	2,484	2,438	-45	-1.8%	6,470	37.7%
（営業利益率）	(12.0%)	(8.8%)	-3.2p		(10.9%)	
経常利益	2,489	2,310	-178	-7.2%	6,310	36.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,472	1,388	-84	-5.7%	3,520	39.4%

# 2026年8月期 四半期別 業績概要（連結）

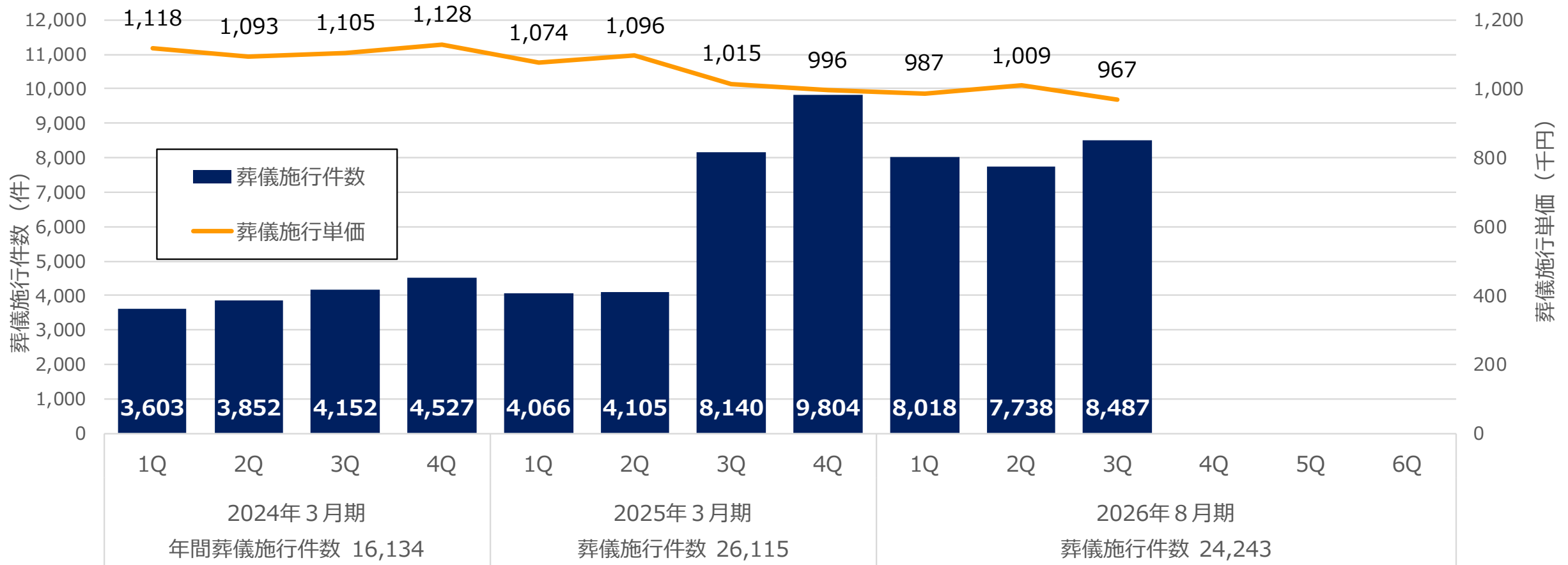
(単位：百万円)	1Q実績	前年同期比 増減率	2Q実績	前年同期比 増減率	3Q実績	前年同期比 増減率
営業収益	9,154	65.9%	9,078	60.2%	9,568	-0.2%
営業費用	7,393	74.8%	7,518	71.5%	7,845	5.2%
一般管理費	859	94.3%	914	53.8%	831	-29.5%
営業利益	901	6.7%	645	-6.3%	891	-6.1%
(営業利益率)	(9.8%)	-5.5pt	(7.1%)	-5.0pt	(9.3%)	-0.6pt
経常利益	861	-0.3%	619	-11.6%	829	-10.3%
四半期純利益	588	6.7%	302	-22.9%	497	-6.0%

四半期業績 各項目推移について、当社HP「財務ハイライト」にてご確認ください。  
<https://www.san-hd.co.jp/ir/finance/chart.html>



# グループ 葬儀施行件数・葬儀施行単価の推移

【葬儀施行件数と葬儀施行単価の四半期推移】

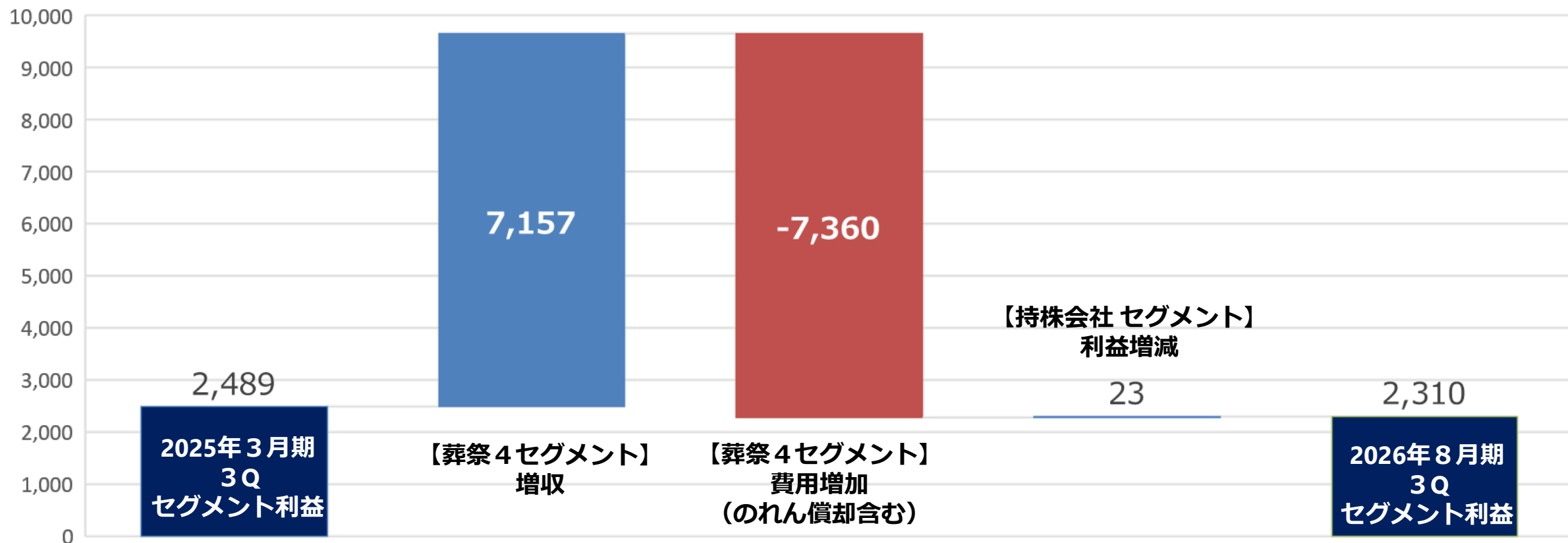


# セグメント利益 増減要因

- 葬祭 4 セグメントのセグメント費用の主な内訳：新規会館出店に伴う地代家賃等の増加、のれん償却、および、将来の事業成長に備えた人員採用に係る採用費・人件費等

(単位：百万円)

【グループ全社 セグメント利益 増減要因】





# 貸借対照表 増減

- ・自己資本比率は前期末比5.8ポイント上昇し、64.8%

(単位:百万円)

主な増減 現預金の減少 -5,799	<b>流動資産</b> <b>10,344</b> (前期末比-4,922)	<b>負債</b> <b>20,784</b> (前期末比-5,097)	主な増減 短期借入金の減少 -500 長期借入金の減少 -1,859
	<b>固定資産</b> <b>48,769</b> (前期末比+983)	<b>純資産</b> <b>38,330</b> (前期末比+1,158)	
主な増減 建物及び構築物の増加 1,506 のれんの減少 -553	主な増減 四半期純利益 1,388 自己株式の処分 167 剰余金の配当 -518		
<b>総資産 59,114</b> (前期末比-3,939)			

2.

## 公益社グループ 業績概況

---

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる  
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

# 公益社グループの業績概況

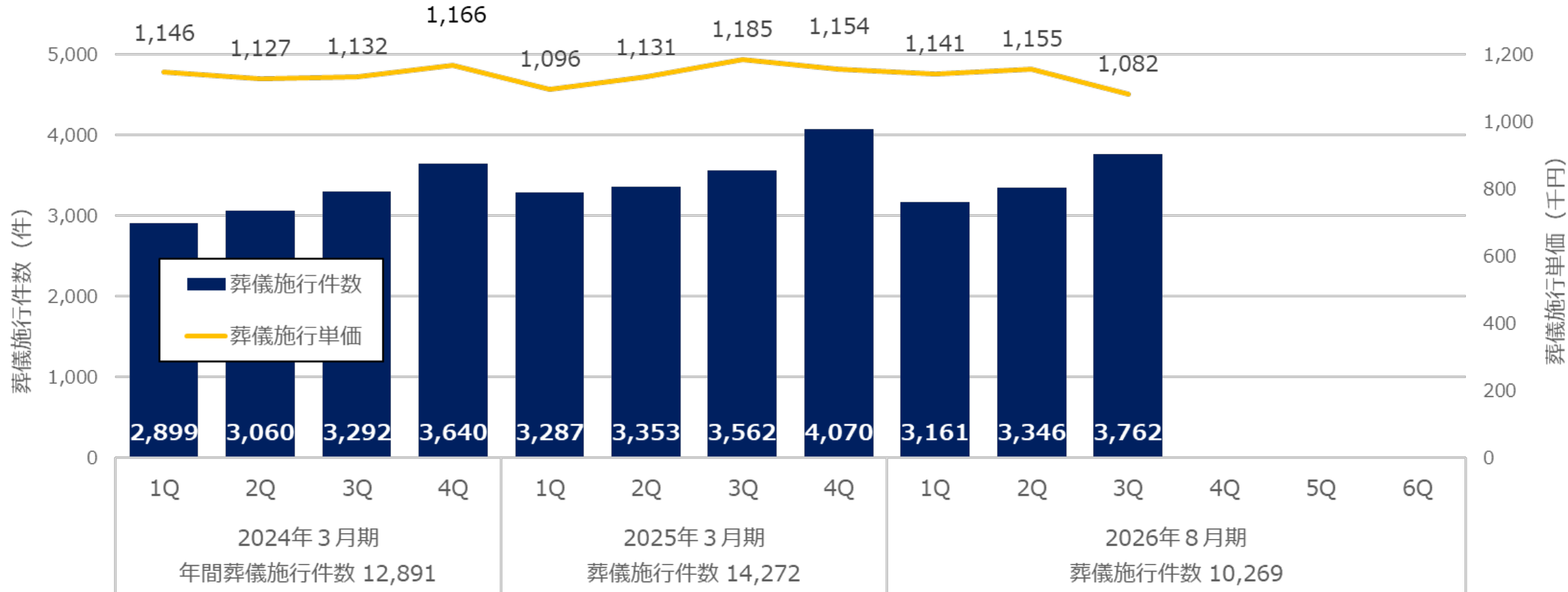
- ・ 葬儀施行件数：死亡者数が前年同期を下回ったものの、競争優位性を保ち微増
- ・ 葬儀施行単価：大規模葬儀の葬儀施行単価が低下したことが影響

	2025年3月期 3 Q累計	2026年8月期 3 Q累計	前期比	
			増減額	増減率
葬儀施行件数（件）	10,202	10,269	67	0.7%
葬儀施行単価（千円）	1,139	1,124	-15	-1.3%
会館数（四半期末時点）	72	78	6	
セグメント収益（百万円）	14,602	14,576	-26	-0.2%
セグメント利益（百万円）	1,938	1,616	-321	-16.6%

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく

# 公益社 葬儀施行件数・葬儀施行単価の推移

【葬儀施行件数と葬儀施行単価の四半期推移】



3.

# 葬仙グループ・タリイグループ きずなグループ

## 業績概況

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる  
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

# 葬仙グループの業績概況

- ・ 葬儀施行件数：一般葬儀を中心に増加
- ・ 葬儀施行単価：規模の大きな葬儀の施行件数の増加によるもの

	2025年3月期 3 Q累計	2026年8月期 3 Q累計	前期比	
			増減額	増減率
葬儀施行件数（件）	1,138	1,183	45	4.0%
葬儀施行単価（千円）	881	892	11	1.3%
会館数（四半期時点）	14	14	0	—
セグメント収益（百万円）	1,138	1,207	68	6.0%
セグメント利益（百万円）	105	110	5	5.0%

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく

# タリイグループの業績概況

- ・ 葬儀施行単価：一般葬儀を中心に上昇
- ・ 営業費用：出店関連コストならびに、  
将来の事業成長に備えた人員採用に係る採用費・人件費等が増加

	2025年3月期 3Q累計	2026年8月期 3Q累計	前期比	
			増減額	増減率
葬儀施行件数（件）	1,284	1,283	-1	-0.1%
葬儀施行単価（千円）	1,068	1,080	11	1.1%
会館数（四半期末時点）	12	15	3	—
セグメント収益（百万円）	1,487	1,518	31	2.1%
セグメント利益（百万円）	329	259	-70	-21.3%

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく

# きずなグループの業績概況

	2024年9月 ～ 2024年11月	2026年8月期 3Q累計
葬儀施行件数（件） * 2025年9月より連結	3,687	11,508
葬儀施行単価（千円） * 2025年9月より連結	851	864
会館数（四半期末時点）	163	187
セグメント収益（百万円）	3,269	10,353
セグメント利益（百万円）	-190	-7

・前第3四半期連結累計期間では、2024年9月から2024年11月の業績が連結されております。したがって、経営成績に関して、前年同期との比較はおこなっておりません。

のれん償却額 5億35百万円 計上

子会社化に伴う一過性の公開買付関連費用約2億26百万円、および、のれん償却額を1億88百万円計上

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく



4.

## 2026年8月期 業績予想

---

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる  
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

# 2026年8月期 業績予想について

---

## 1 こころネットの経営統合について

---

- 当社は、2026年2月1日に、こころネット(株)を株式交換により連結子会社化いたしました。
- みなし取得日を2026年3月31日としており、本件が連結業績予想に与える影響は現在精査中です。準備が整い次第、速やかに開示いたします。

5.

## 株主還元方針

---

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる  
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

# 株主還元方針

## 【配当方針】

当社は、株主の皆様への利益配分を経営上の最重要課題の一つと考えております。剰余金の配当につきましては、連結業績および資金の状況、中長期的な成長投資のための内部留保の確保、ならびに財務の健全性等を総合的に勘案しながら、**累進配当政策を採用**し、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を継続的に実施する方針であります。

内部留保につきましては、積極的な新規会館開設を中心に、I Tや、M & A等の戦略的投資の原資に充て、経営基盤の強化と企業価値向上をはかってまいります。

また、自己株式の取得につきましては、今後も株価やその他諸条件を考慮のうえ機動的な実施を検討してまいります。

# 決算期変更後のIRスケジュールについて

- ・ 2026年 8 月期は、決算期変更に伴い17ヶ月間
- ・ 剰余金の配当は、2026年 **3** 月（中間期）、2026年11月（期末）を予定

## IR年間予定（2026年 8 月期）



# 2026年8月期 配当予想

- 2026年8月期は、年間57円を予定（決算期変更に伴う17ヶ月間の配当予想）  
中間配当金28.5円、期末配当金28.5円（予想）

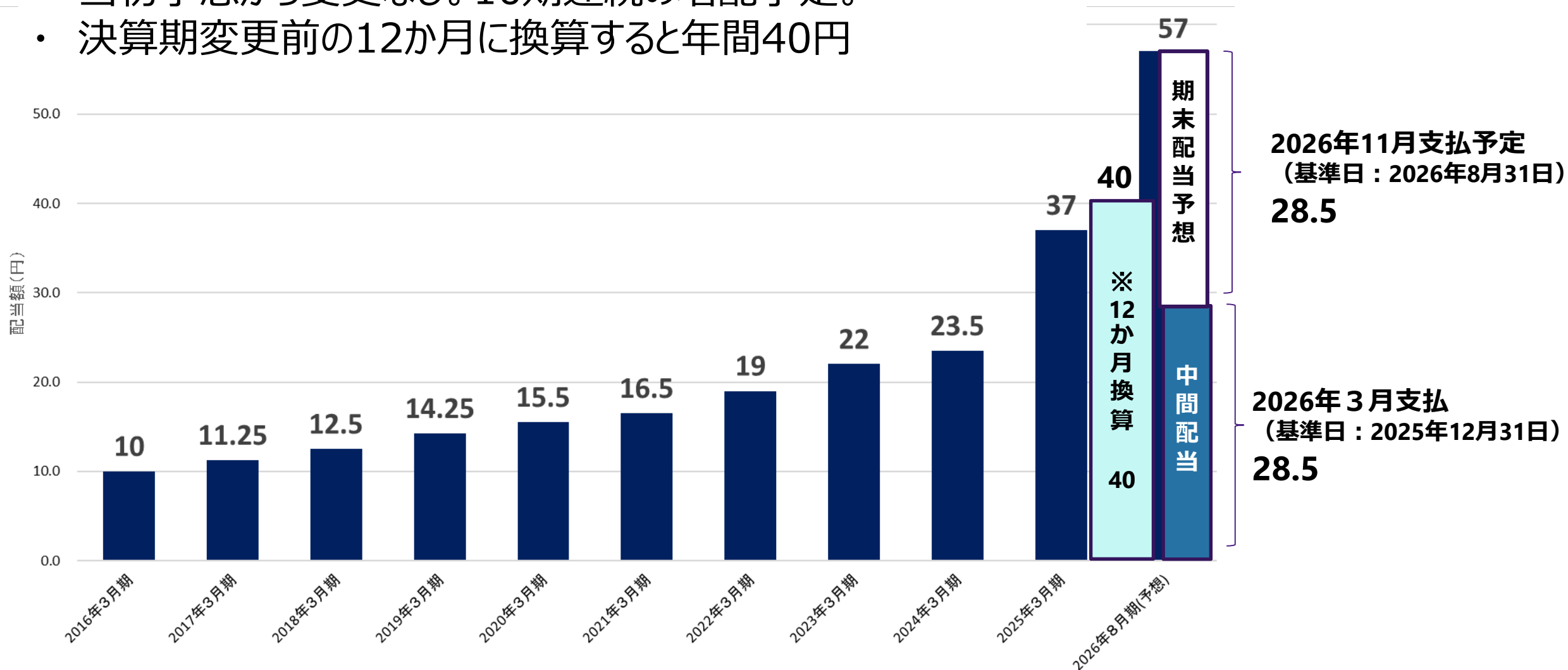
(単位：円)		2024年3月期	2025年3月期	2026年8月期 (17か月)	*参考：決算期変更前 (12か月換算)
1株あたり配当金 (分割前換算)		35.0 (47.0)	37.0 (74.0)	<b>57.0 見込み</b> (114.0)	<b>40.0 見込み</b> (80.0)
	中間 (分割前換算)	23.0	12.0 (24.0)	<b>28.5</b> (57.0)	<b>20.0</b> (40.0)
	期末 (分割前換算)	12.0 (24.0)	25.0 (50.0)	<b>28.5 見込み</b> (57.0見込み)	<b>20.0 見込み</b> (40.0見込み)
配当性向（連結）		20.5%	16.0%	33.1%	29.9%

(※1)特殊要因（不動産信託受益権の譲渡による固定資産売却益の計上）を除くと、配当性向は32.1%

\* 2023年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式の分割を行いました。

# 配当金の推移

- ・ 当初予想から変更なし。10期連続の増配予定。
- ・ 決算期変更前の12か月に換算すると年間40円



**EOF**